

第 2 期柏原市下水道施設包括的管理業務
公募型プロポーザル

審査講評

令和 7 年 3 月

柏原市 上下水道部 下水工務課

目 次

1 業務概要	1
1-1 業務名称	1
1-2 業務実施場所	1
1-3 業務目的	1
2 審査方針	2
2-1 最優秀提案者の決定方法	2
2-2 選定委員会	2
2-3 審査方法	2
3 最優秀提案者の経過及び結果	8
3-1 参加資格確認	8
3-2 第一次審査	8
3-3 第二次審査	8
4 審査講評	10
4-1 総評	10

1 業務概要

1-1 業務名称

第2期柏原市下水道施設包括的管理業務

1-2 業務実施場所

『要求水準書 別紙』に示す業務実施場所

1-3 業務目的

本業務は、本市が保有する下水道施設の維持管理等に係る業務を、一括かつ複数年にわたって委託することにより、下水道施設の安定的な機能確保、維持管理業務の効率化及び市民サービスレベルの充実を図ることを目的とする。

2 審査方針

2-1 最優秀提案者の決定方法

最優秀提案者は、本プロポーザルの参加者が提案する提案内容等について、以下のとおり、参加者の技術力やノウハウによる企画提案、提案金額を総合的に評価し、決定した。

- ① 資格審査において、プロポーザル実施要領等に基づき参加資格の有無について確認を行う。
- ② 資格審査において、参加資格が確認できた参加者の提案を受ける。
- ③ 提案審査において、本市が第一次審査（企画提案書等の不備の確認、提案内容が要求水準を満たしているかの確認）を行い、第一次審査を満たした企画提案書等に対して、第二次審査（選定委員会が技術評価、本市が価格評価）を行う。
- ④ 選定委員会において、第二次審査（技術評価及び価格評価）における評価点の確認を行う。
- ⑤ 評価点が最も高い参加者を最優秀提案者、次に評価点の高い参加者を次点提案者として選定する。

2-2 選定委員会

本市は、最優秀提案者の選定に当たり、透明性の確保、公正公平な審査を実施するため、選定委員会を設置し、審査要領に基づき企画提案書等の審査を行った。なお、選定委員は次表のとおりとした。

表1 プロポーザル選定委員

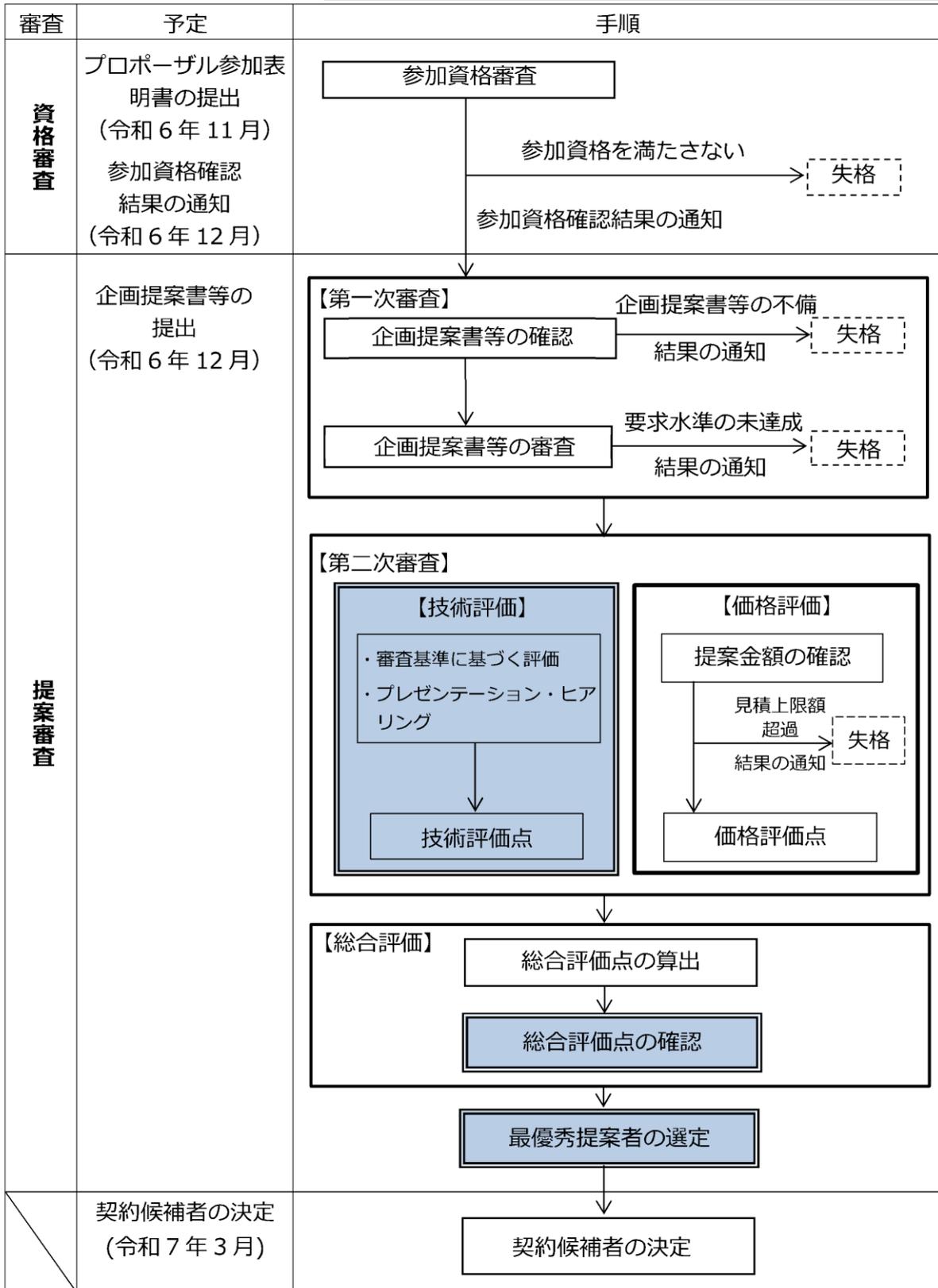
上下水道部	上下水道部長
都市デザイン部	都市デザイン部長
財務部	財務部長
政策推進部	総合政策監
政策推進部	危機管理監

2-3 審査方法

審査は、次に示す方法で行った。

(参考図) 契約候補者決定までの流れ

【凡例】 : 選定委員会 : 柏原市(事務局)



2-3-1 資格審査

本市は、参加者から提出されたプロポーザル参加表明書、構成企業一覧及び参加資格確認書類等について、プロポーザル実施要領等に示す参加資格要件を満たしているかの確認を行い、参加者に審査結果を通知した。

2-3-2 提案審査

(1) 第一次審査

① 企画提案書等の確認

参加資格審査を確認された参加者が提出した企画提案書等において、提出資料の不備についての有無を確認した。また、企画提案書等において、プロポーザル実施要領等に示す提案項目について確認を行った。

② 企画提案書等の審査

「①企画提案書等の確認」において不備等がなかった参加者が提出した企画提案書等について、第一次審査シートを基に提案内容が要求水準を満たしているかの確認を行った。

(2) 第二次審査

①技術評価

第一次審査を通過した参加者の企画提案書等に示された提案内容について、選定委員会が評価を行った。

ア 審査方法

企画提案書等に示された内容を、次表の審査及び評価基準に基づき審査を行い、評価点をつけた。

表2 審査項目及び評価基準

審査項目		評価基準	配点
大項目	中項目		
実施能力	地域精通度	<ul style="list-style-type: none"> ・柏原市内における参加者（単独企業又は共同企業体）の作業拠点について評価する。 ・参加者（単独企業又は共同企業体）の受託実績を踏まえて、本業務対象地区（地理、地形等）の熟知度及び下水道管路施設等の精通度について評価する。 	9
提案内容	業務実施体制	<ul style="list-style-type: none"> ・本業務を実施するための基本方針、実施体制図及び人員配置計画について評価する ・各業務の連携に関する考え方や業務継続に関するリスク管理等の考え方について評価する。 	3
	連絡体制	<ul style="list-style-type: none"> ・本市と参加者が迅速かつ効率的に情報共有ができる体制（利用機器や情報共有ツールなども含む）について評価する。 ・参考として、本市が想定する要件を示す（下記のすべてを満たすことを必須とするものではない）。 <ol style="list-style-type: none"> ①市職員と事業者が複数人で同時に利用できる ②大容量（100MB以上）の写真やデータのやり取りができる ③メッセージの履歴が残る ④市職員用の端末と回線が用意されている ⑤位置情報が容易に添付できる ⑥スマートフォンからも利用できる 	6
	配置予定技術者の資格・経験	<ul style="list-style-type: none"> ・配置予定技術者の保有資格・経験について評価する。 ・業務継続に関するリスク管理等の考え方について評価する。 	3
	業務全般	<ul style="list-style-type: none"> ・維持管理情報（点検調査情報、住民対応、清掃及び修繕結果等）の整理・管理方法（電子媒体・紙媒体・GISの活用等）について評価する。 	6
	各業務の要求事項に対する考え方や提案	<p>【統括管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各業務の実施状況把握や案件管理の方法について評価する。 ・維持管理情報の評価、分析についての考え方について評価する。 ・各業務に関する参加者内での連携体制について評価する。 ・セルフモニタリングについて、業務全体にわたる方法と内容（協力企業も含む）、継続的改善の考え方について評価する。 ・業務全体の改善提案の方法と考え方について評価する。 <p>【日常的管理保全】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務における市民への対応や、報告の考え方について評価する。 ・本市からの連絡受信の方法や、連絡受信後の対応の流れについて評価する。 ・軽微な事象への対応、重大な事象への対応、安全確保、本市への報告方法について評価する。 ・住民対応等業務から、緊急清掃や緊急修繕への引継ぎ手順について評価する。 ・緊急修繕業務における、工法等の検討についての考え方を評価する。 ・定期清掃業務対象施設の監視方法や考え方について評価する。 	6

審査項目		評価基準	配点
大項目	中項目		
		【計画的管理保全】 <ul style="list-style-type: none"> ・交付金対象可否、排除方式、流域区分等の分類方法と考え方について評価する。 ・マンホール蓋改築における現場状況や条件に適合した施工管理（工程管理、安全管理等）の考え方について評価する。 ・不明水の原因特定のために実施可能な調査方法について評価する。 ・調査や改築に関する、新技術の導入やデータ管理の考え方について評価する。 	6
		【計画策定】 <ul style="list-style-type: none"> ・維持管理情報をストックマネジメント計画に反映する方法について評価する。 ・本市の下水道の特性・特徴を踏まえた計画の検討・立案の考え方について評価する。 ・計画策定に当たって、将来的なトータルコストを縮減するための考え方について評価する。 	6
		【災害予防業務】 <ul style="list-style-type: none"> ・警戒巡視の実施体制、実施手順について評価する。 ・警戒巡視の発動基準の考え方、降水量（予報、実測値）の確認方法について評価する。 ・土嚢配備等の方法、実施体制について評価する。 ・IOTを活用した遠隔監視の導入など、新技術の導入についての考え方について評価する。 	6
	危機管理・安全対策の提案	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時（作業中の事故等）において、想定される事象と基本的な考え方について評価する。 ・緊急連絡体制及び組織的なバックアップ体制等について評価する。 	3
	地域貢献に関する提案	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者（単独企業又は共同企業体）及び協力企業に関して、地域の人材、柏原市の下水道管路施設に精通した企業（市内企業）等を適切に活用した実施体制（市内企業の数、委託する業務等）について評価する。 ・地域（住民等を含む）との連携及び協働並びに地域活性化への取組等について評価する。 ・災害時の協力等について評価する。 	9
ヒアリング・プレゼンテーション・	取組姿勢、対話力	<ul style="list-style-type: none"> ・本市の下水道施設の現状把握や本業務の目的、内容等の理解が十分になされているかについて評価する。 ・企画提案の説明や質問に対する応答が適正になされているのかについて評価する。 	6
技術点合計			75点

イ 技術評価点

次表評価点のとおり、3段階評価により得点を算出し、審査委員全員の平均点（小数点以下は切捨て）を技術評価点とした。

表3 技術評価点

評価	審査基準	得点化方法
A	当該審査項目について、具体性がありかつ優れた提案がなされていると認められる。	配点×1
B	当該審査項目について、具体性がある提案がなされていると認められる。	配点×2/3
C	当該審査項目について、要求水準に沿った最低限の内容があるが、具体性や提案がない。	配点×1/3

ウ プレゼンテーション・ヒアリング

第一次審査を通過した応募者は、選定委員会に対しプレゼンテーションを行い、委員からの質疑応答を行った。質疑では、提出のあった企画提案書に対して、不明瞭点等を確認のみを評価とし、プレゼンテーションにおける企画提案書に対する修正点や補足事項の数等は、審査の対象としていない。

なお、プレゼンテーションの詳細については、第一次審査通過者を対象に別途電子メールにおいて通知を行った。

②価格評価

次表に基づいて提案金額から価格評価点を算出した。

表4 価格評価点

審査基準	得点
提案金額が見積上限額と同額	5
提案金額が見積上限額の100%未満かつ85%以上	$134 \times \left(1 - \frac{\text{提案金額}}{\text{見積上限額}} \right) + 5$ ※小数点以下は切捨て
提案金額が見積上限額の85%未満	25

③総合評価

技術評価点及び価格評価点の合計を総合評価点として算出し、選定委員会において、算出された総合評価点が妥当であるかの確認を行った。

$$\text{総合評価点} = \text{技術評価点} + \text{価格評価点}$$

3 最優秀提案者の経過及び結果

3-1 参加資格確認

令和6年10月23日に公告を行い、令和6年11月29日までに、以下に示す1グループから参加資格確認書類の提出があった。

表5 参加資格確認書類の提出があったグループ

共同企業体名	代表企業	構成企業
柏原市下水道パートナーズ	クリアウォーターOSAKA 株式会社	・ 管清工業株式会社 大阪支店 ・ 株式会社大紀 ・ 株式会社辻儀組 ・ オリジナル設計株式会社 大阪事務所

参加資格確認の結果、上記1グループについては参加資格を満たしていることを確認し、令和6年12月9日に参加資格確認結果の通知を行った。

3-2 第一次審査

令和6年12月10日から令和7年1月10日までの企画提案書等の受付期間に、上記1グループから企画提案書等の提出があった。

本市（事務局）において、上記1グループから提出のあった企画提案書について第一次審査を行った。『提出書類作成要領及び様式集 様式III-3 第一次審査シート』に従い評価をした結果、いずれの提案も要求水準を充足する提案であると判断した。

3-3 第二次審査

3-3-1 技術評価点の算出

令和7年2月17日に第2期柏原市下水道施設包括的管理業務公募型プロポーザル選定委員会を開催し、上記1グループから提出された企画提案書内容について審査した。

表6 技術評価点

共同企業体名	技術評価点
柏原市下水道パートナーズ	62点

3-3-2 価格評価点の算出

企画提案書に添付されている『参考見積書』を基に、表3 価格評価点に示すように価格評価点の算出を行った。なお、提案金額が見積上限額を超える提案はなかった。

表7 提案金額及び価格評価点

共同企業体名	提案金額	価格評価点
柏原市下水道パートナーズ	468,981,700 円	5点

3-3-3 総合評価点の算出

技術評価点と価格評価点を加算し、総合評価点を算出した結果、「柏原市下水道パートナーズ」は最低基準点（60点）以上の総合評価点となった。

総合評価点は以下のとおりである。

表8 総合評価点

共同企業体名	技術評価点	価格評価点	総合評価点
柏原市下水道パートナーズ	62点	5点	67点

3-3-4 最優秀提案者の決定

以上の審査結果により、「柏原市下水道パートナーズ」を最優秀提案者として決定した。

4 審査講評

4-1 総評

大項目	審査講評
業務実施能力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当該 JV は本市での実績が豊富な事業者で構成されており、業務実施に必要な十分な能力があると期待できるものであった。 ・ 構成企業と協力企業には地元企業が複数含まれており、市内の熟知度及び下水道管路施設等の精通度についても高く評価した。
業務提案内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 提案書及び説明は、業務全般において、本市が求める要求水準を十分満たすものと評価できた。 ・ 維持管理における企業構成間の連絡体制については、IT 技術（クラウドサービス、SNS 等）を活用した効率的な情報共有体制が含まれていたため、高く評価した。 ・ セルフモニタリングについては、履行状況を監視・評価を行うとともに、定期的に要求水準の評価につながる提案も行うとの内容であり、業務期間の中で維持管理業務のスパイラルアップが期待できるため、高く評価した。 ・ 計画的な管理保全業務については、本市の特性（腐食しやすいヒューム管、コンクリート管が多い）を十分に理解し、独自に開発したカメラを使用した、従来手法よりも効果的な点検方法を提案するなど、予防保全に関して積極的な姿勢が見受けられたため、高く評価した。 ・ 地域貢献に関する項目については、出前授業の実施など、将来を見据えて次世代への PR を重要視している点や、災害支援活動への参加経験を有しており、災害時にも適切な支援が期待できる点について、高く評価した。
プレゼンテーション・ヒアリング	<ul style="list-style-type: none"> ・ プレゼンテーションでは各項目の提案内容に対する丁寧で分かりやすい説明があり、真摯な姿勢が見受けられた。 ・ 各委員からの質問に対する応答も的確であり、本市と対話を重ねながら前向きに本業務を実施していく姿勢が見受けられた。 ・ 陥没事故等に関する多くの知見を有しており、そのような事故を防ぐための予防保全について前向きな姿勢が見受けられた。